

共に  
「学び、思いやり、鍛え」  
歩む

八代中学校「校長室だより」 No.5

校訓

自主 誠実 工夫

令和6年6月4日(火)

## 八幡浜・西宇和地区総合体育大会 (6/1)

男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子バスケットボール部、女子卓球部、サッカー部、女子剣道部の6チームの皆さん、団体優勝おめでとうございます。また、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、女子バスケットボール部の皆さん、惜しくも優勝は逃しましたが準優勝おめでとうございます。そして、個人で3位までに入賞した皆さん、おめでとうございます。

(詳しくは、八中だより6月号をご覧ください。)

私は、午前中、八代中学校体育館で、剣道の全ての試合を観戦させていただきました。私自身、剣道の試合を間近で見るのは初めてでした。団体戦は八代中学校のみのエントリーでしたので試合はありませんでした。

9時から、個人戦が行われました。八代中学校6名の選手が個人戦に出場しました。まず、Aブロック3名、Bブロック3名に分かれて、総当たりの予選が行われました。Aブロックは、予選を終えてブロック内の順位が決定したのですが、Bブロックは、3名とも引き分け試合になったため、再度、Bブロック3名の総当たり戦を行うことになりました。



その一つ目の試合が、3年生の高岡想葉(たかおかそよ)さんと3年生の小西茅穂里(こにしちほり)さんの試合でした。3分3本勝負の試合でしたが、この中では勝敗が付きませんでした。2分間の延長戦に突入しました。互いに間合いを取りながら、繰り返し、面や胴を狙いますが、なかなか決まらず、1本になりませんでした。さらに延長、さらに延長、それでも、勝敗はつきません。会場には、吹奏楽部と創造部の皆さん、保護者や剣道会の皆さん、卒業生も集まっていますが、場内は静まり返り、二人の「面」「胴」「こて」の声のみが響いていました。二人とも、「これまでの練習の成果をこの試合に全て出そう」、「最後の総体、負けられない」、意地と意地とのぶつかり合いでした。ものすごい緊張感でした。延長を何度も繰り返し、およそ30分後に、決着が付きました。二人に、会場中から感動の拍手が沸き起こりました。

他の会場でも、さまざまな感動があったことでしょう。勝負ですから、勝ち負けはあります。しかし、どの試合も、心に残る試合になり、見ている人たちに感動を与えました。そうなのは、八中生が、総体での勝利を目指して、一生懸命、努力を積み重ねていったからだと思います。間違いなく、中学校の部活動を通して、八中生は大きく成長したと思います。

八中生の皆さん、本当にたくさんの感動をありがとう。そして、これまで生徒を支えてくださった保護者、地域の皆さん、そして、この大会の開催に携わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 河野 靖)